

国民保護とは

武力攻撃やテロなどは、あってはならないことですが、万が一起こった場合には、みなさんの安全が守られなければなりません。こうした事態が起こった場合は、下の図のように国や都道府県、市町村等が連携し、危険からみなさんを守る事となっています。このことを「国民保護」と呼んでいます。

みなさんがこうした事態に遭遇してしまった場合に、自分や家族を守るためには、この国民保護のしくみを理解し、どのように行動すればよいのかを知っておくことがとても大切です。



国民保護のしくみは国民保護法で定められています

平成16年9月に「国民保護法」（正式名称は「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」）が施行されました。日本に対する外部からの武力攻撃などを受けたときに国民の生命、身体および財産を保護し、武力攻撃に伴う被害を最小にできるよう国や地方公共団体等の役割分担やその具体的な措置が定められています。



*表紙のマークは、国民の保護のための措置に従事する者等やそのために使用される場所や車両等を識別するための国際的な特殊標章です。